

## 令和2年度上半期 造血細胞移植委員会活動報告

委員長：橋井佳子 委員：平山雅浩、福島啓太郎、井口晶裕、安井昌博、加藤 格、  
日野もえ子、田中久道

オブザーバー：矢部普正 長澤正之、佐藤 篤、森本 哲 敬称略

令和2年度 日本小児血液がん学会・造血細胞移植委員会 コロナウイルス影響にて開催できず。個々にメール相談をおこなった。

- 1) 移植後ワクチン接種のガイドラインの有効性の検証について（佐藤委員オブザーバー、福島委員）佐藤オブザーバー委員が中心となりハートリンクワーキングプロジェクトへの研究助成応募し、助成が認められた。現在、アンケートを作成し小児血液がん学会倫理審査承認をうけ、会員施設へ調査中である。
- 2) 福田班において小児科において長期フォローアップ外来開設割合が低いことが明らかになり、福田班と連携することが提案され、今後、連携して小児特有の問題に取り組んでいる。
- 3) 造血細胞採取ガイドラインの作成、末梢血幹細胞採取のドナーパンフレット作成について、造血細胞採取ガイドラインの作成 を井口委員、安井委員でドラフト作成された。造血細胞移植学会ドナー委員会と調整中
- 4) TRUMP の改訂につき、森本オブザーバー委員とともに議論に参加し小児に対するデータ収集項目を担当した。細胞療法に関する情報取得について小児科的な意見をのべた。
- 5) 造血細胞移植登録一元管理委員会に小児血液癌学会造血細胞移植委員長として出席した。JDCHCT 造血細胞移植登録一元管理委員会メンバーとして多数の研究審査に関わった。
- 6) 小児ドナーの安全性調査に関する疫学観察研究について  
2019年5月末で約100施設、約900症例を収集することができた。2020年日本造血細胞移植学会で発表、コロナウイルスにより中止となったが、抄録は提出した。現在論文化の進め方を議論中
- 7) Covid19感染関連と小児移植への影響について福島委員を中心に調査予定。

文責 橋井佳子